

科目名	包帯固定学					
分野	専門分野	担当教員	平林 弘道			
開講時期	1学年 1・2学期	単位数	講義	実技	演習	実習
時間数	60			2		
科目の概要	外傷の整復後の再転位、再脱臼の予防、および 患部の安静保持を目的とし、固定用の非収縮性包帯の基本的な巻き方、基本包帯法（環行、螺旋、蛇行、折転、麦穂、亀甲）、冠名包帯法（ヴェルポー、ジュール、デゾー）の習得を目的とする。実技のみでなく国家試験必修問題に包帯固定学の問題が複数問出題されているので座学にも重点を置く。					
学習の到達目標	包帯法の基本的理論を理解。患部を被覆する際の助手の使いかたを修得する。基本包帯法、冠名包帯法の理論と走行を理解する。基本包帯法、冠名包帯法を使って種々の外傷に対する固定が出来るようになる。					
成績評価の方法と基準	定期試験及び実技試験にて評価する。※通常実習時の包帯の取り扱い全般も考慮する。					
使用テキスト	包帯固定学改訂第2版(南江堂)					
参考文献	柔道整復学実技編改訂第2版(南江堂) 柔道整復学理論編改訂第7版(南江堂)					
実務経験を有する者	○					
講義計画	講義内容					
1	包帯固定学の基礎。 固定の目的、肢位、範囲。 固定材料種類。					
2	巻軸帯の巻き方(巻き戻し)と注意事項。					
3	環行・螺旋・蛇行・折転帯1 説明と練習。					
4	環行・螺旋・蛇行・折転帯2 均等な圧がかかり、きれいに巻けるよう完成度を増す。					
5	基本包帯法(亀甲帯)1 説明と練習。					
6	基本包帯法(亀甲帯)2 均等な圧がかかり、きれいに巻けるよう完成度を増す。					
7	基本包帯法(麦穂帯)1 説明と練習。					
8	基本包帯法(麦穂帯)2 均等な圧がかかり、きれいに巻けるよう完成度を増す。					
9	基本包帯法総合練習					
10	三角巾・晒・ストックネットによる固定					
11	部位別包帯法1					
12	部位別包帯法2					
13	部位別包帯法3					
14	部位別包帯法4					
15	総合評価(まとめ)					

16	デゾー包帯1 説明と練習。
17	デゾー包帯2 均等な圧がかかり、きれいに巻けるよう完成度を増す。
18	ヴェルポー包帯1 説明と練習。
19	ヴェルポー包帯2 均等な圧がかかり、きれいに巻けるよう完成度を増す。
20	ジュール包帯1 説明と練習。
21	ジュール包帯2 均等な圧がかかり、きれいに巻けるよう完成度を増す。
22	冠名包帯総合練習 両側等
23	固定材料概論
24	厚紙・すだれ副子固定
25	アルミ副子、ソフトシーネ固定
26	熱可塑性材料固定1 説明とデモ
27	熱可塑性材料固定2 説明とデモ
28	吸水硬化性材料固定 説明とデモ
29	石膏材料固定 説明とデモ
30	総合評価(まとめ)

(2026年度)